



2023 年 5 月 22 日
ボルグワーナー

ボルグワーナー、バッテリー電気トラック向け イー・ファン(eFan)システムを世界的OEMより受注

- ファン、電気モーター、統合インバーターを含むシステム全体を供給
- 生産開始は2025年第4四半期を予定
- 2022年12月に買収したドライブテック社(Drivetek AG)、新規ビジネス獲得に一役

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic B.Lissalde)は2023年5月4日、欧州と北米の両市場で使用される予定の高電圧イー・ファン(eFan)システムを、世界的な商用車OEMに供給することが決定したと発表しました。ボルグワーナーにとって初めて北米向けに供給するイー・ファン(eFan)システムであると同時に、高電圧・低出力イー・ファンセグメントにおける初のグローバルな受注獲得となります。バッテリー電気自動車(BEV)および燃料電池自動車(FCEV)に適用可能なイー・ファン(eFan)システムは、OEMの大型バッテリー電気トラックに搭載され、最高の冷却要件を実現し、クラストップの性能を発揮することになります。

本プロジェクトでは、ファン、電気モーター、統合高電圧インバーターを含む完全なイー・ファン(eFan)R10システムを供給します。イー・ファン(eFan)R10は、最大10kWの出力と40Nmのトルクを発生し、動作温度範囲は摂氏マイナス40度から80度までです。

ボルグワーナー・エミッション／サーマル／ターボ・システムズ社の社長兼事業本部長のジョー・ファドウル(Joe Fadool)は、「ボルグワーナーは、ファンの性能、電気モーター、パワーエレクトロニクスに対する専門性を活かし、さまざまな電気自動車に適合する高効率イー・ファン(eFan)システムを開発しました。今回はグローバルなOEMとの協力関係をさらに拡大し、当社の高性能イー・ファン(eFan)の供給に

までつなげることができました。よりクリーンでエネルギー効率の高い世の中の実現を目指す当社のサステナビリティ戦略をさらに前進させることになり、嬉しく思います」と述べています。

ボルグワーナーのイー・ファン(eFan)システムは、動作範囲がディレーティングなしで 600V から 850V までと広く、さまざまな商用車の高電圧電気システムとの互換性を有しています。長期的な信頼性確保を念頭に設計された電気モーターとパワーエレクトロニクスは液冷式となっており、コンパクトでありながら堅牢に動作します。充電時には騒音を最小限に抑え、高い効率で低速回転するよう最適化されたファンを採用しています。

ボルグワーナーのイー・ファン(eFan)製品群は、低出力セグメントと高出力セグメントの両方に高電圧対応が可能で、出力 5 kW、トルク 20 Nm のものから出力 40 kW、トルク 160 Nm のものまで、さまざまな出力レベルを持つ拡張可能なイー・ファン(eFan)システムを特徴としています。このようにモジュール設計にすることにより、顧客はオープンファンまたはリングファン、外付け或いは内蔵のインバーターを選択することができます。イー・ファン(eFan)のコンポーネントには拡張性があり、インターフェースやコネクタをお客様のご要望に合わせてカスタマイズすることが可能です。

2022 年 12 月、ボルグワーナーはドライブテック社(Drivetek AG)を買収することによりインバーターに関する知見やノウハウを強化し、その結果イー・ファン(eFan)事業の成長をさらに前進させることができました。生産開始は 2025 年第 4 四半期を予定しており、初期生産台数は 3,000 台以上、2031 年には北米と欧州で 74,000 台近くにまで増産する予定です。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995 年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近の Form 10-K 年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第 7 項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとす

る会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、当社または当社顧客に影響を及ぼす供給停止（受託製造会社（OEM）顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等）、商品の入手可能性および価格、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー（主に電気自動車関連）およびそれに対する当社の革新能力に関連する困難、新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性（さらなる製造停止等）、電気自動車の需要予測および当社の電気自動車売上成長率の予測の困難、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、近頃のAKASOL AG社、Santrollの乗用車用eMotor事業、Rhombus Energy Solutionsおよび2020年のデルファイ・テクノロジー社の買収を含む買収から期待される利益の適時な実現の不実施、売却に適切な燃焼系ポートフォリオ事業を特定し、計画された売却を受け入れ可能な条件で完了させる能力、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造（いずれも景気に大きく左右され、停止の可能性がある）への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、金利の変動および外貨の為替レートの変動、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性および地域経済における景気後退の可能性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または処分の可能性による影響、直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因（Risk Factors）」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、小野田

TEL: 070-4303-7215(中井)、090-7909-2732(小野田)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp